

令和6年度事業計画

令和5年度、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類感染症から5類感染症に移行されました。これによって3年余りにわたって続いてきた“コロナ禍”が事実上の終焉を迎え、本格的な「ポストコロナ社会」が幕を開けることとなりました。

これまで新型コロナウイルス感染症の拡大が世界的な規模で経済や雇用等のあらゆる分野に甚大な影響を与えてきた中で、明倫福祉会においても新型コロナウイルス感染症は利用者・職員の生命を脅かし、収支にも大きな影響を与え続けてきました。苦しい法人運営・経営を強いられてきたコロナ禍ではありますが、一方でオンラインでの会議・面会や在宅でのリモートワークが新たな様式として確立されたほか、コロナ前までは当り前過ぎて見失われていた人と人との“つながり”の大切さが再評価されるなど、コロナ禍ではポジティブにとらえるべき新しい価値観も生まれました。ポストコロナ社会においては、感染防止対策を前提としながらもこういった新たなスタンダードと価値観を実現していく経営と運営が求められます。

令和6年度、明倫福祉会ではこのような視点に立ち、収支を安定的に確保できる経営とサービス利用者様やその家族様、地域の皆様に貢献し愛される運営を目指してまいります。

まず、収支の安定的な確保については、「私たちの提供する医療・介護サービスを高齢社会の重要な社会資源として余すところなく地域全体に還元する」という考えのもと、インクルーシブなサービス提供によりベッドとマンパワーを最大限に稼働させる経営に尽力します。その方策として、外国人材を含めた多様な人材の活用によるマンパワー確保と前年度までに導入しているICTやロボットのさらなる活用による業務効率化と負担の軽減を図ってまいります。

次に、顧客と地域への貢献という視点においては、医療をバックグラウンドとする明倫グループが保有する感染症への対応力や専門知識・技術を活かし、安心かつ安全な暮らしを地域と顧客に提案し提供してまいります。グループ内連携に注力し、医療・介護・福祉の多職種協働だからこそ生み出せる価値で信頼と愛着を勝ち取れる運営を目指します。

最後に、理念と事業計画を実現していくための人材教育と育成にも大きく重点を置いて

まいります。感染対策をはじめ、医療・介護・福祉サービスの従事者として専門性を高めるための指導や教育、研修の機会を設けていくと同時に、明倫グループが掲げる理念やビジョンを浸透させ、高い使命感と熱意をもって行動できる人材を創り上げられるような人材マネジメントを図ります。

労働人口の減少や感染、災害といった脅威にさらされ続ける中で近年は物価が著しく高騰し、令和6年度はそういった情勢を鑑みた介護報酬の改定年度となっています。将来への見通しがつきにくく厳しい経営環境の中で制度が大きく変わる令和6年度を、危機感を持ちながらも柔軟かつ確固たる信念をもって乗りきっていけるよう法人全体をあげて尽力してまいります。

運営拠点一覧表

拠点名	サービス種別	事業所名	定員	職員数（令和5年2月1日現在）						
				正規職員	嘱託職員	契約職員	短時間職員	登録ヘルパー	派遣社員	合計
ぼー愛	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設ぼー愛	50	45	1	2	21		2	71
	短期入所生活介護	介護老人福祉施設ぼー愛	20							
	通所介護	介護老人福祉施設ぼー愛	45	7		1	13		1	22
	訪問介護	社会福祉法人明倫福祉会 ヘルパーステーションさんぶら	—	4		2		2		8
	居宅介護支援	社会福祉法人明倫福祉会 介護老人福祉施設ぼー愛	—	1	1		1			3
		ぼー愛三宮ケアプランセンター	—	4			3			7
	地域包括支援センター	三宮あんしんすこやかセンター	—	4			1			5
			合計	65	2	5	39	2	3	116
愛しや	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設愛しや	80	56	1	9	26		7	99
	短期入所生活介護	介護老人福祉施設愛しや	20							
	居宅介護支援	高齢者総合福祉施設愛しや	—	3	2		1			6
	訪問介護	社会福祉法人明倫福祉会 ヘルパーステーションあしや	—	11	5		1			17
			合計	70	8	9	28	0	7	122
愛しや老健	介護老人保健施設	介護老人保健施設愛しや	80	45	2	8	24		1	80
	短期入所療養介護	介護老人保健施設愛しや	5							
	通所リハビリテーション	介護老人保健施設愛しや	45	3	11		7		4	25
	訪問リハビリテーション	介護老人保健施設愛しや	—							0
			合計	48	13	8	31	0	5	105

事業計画

拠点名	ぼー愛
実施事業	特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業、訪問介護、地域包括支援センター

【運営目標】

5月よりコロナは5類へと移行されましたが感染の脅威は消えておらずぼー愛でもインフルエンザとコロナの両方の影響を受けました。事業への影響は最小限に留めることができましたが引き続き対策していきます。また元旦に起きた能登地震では自然災害を目の当たりにし、感染対策とともに令和6年度から義務化されるBCP対策と訓練に引き続き力をいれていきます。物価高騰に対しては施設全体でコスト削減に努めます。人材確保においては技能実習制度から就労支援へと法改正も視野に入れながら外国人の受け入れを継続し定着できるように働きやすい環境づくりを進めていきます。次にサービス別目標値として特養においてはベッドコントロールで95%以上の稼働を維持し、ショートステイではリピーターを増やし稼働率を上げていきます。ICTとホスピタリティを充実させ最後まで満足度の高い介護サービスを目指していきます。デイサービスでは職員一人ひとりの接遇の向上に取り組みぼー愛独自のサービスで差別化し利用者数の低迷を防ぎます。訪問介護は事業収益の増収を目指し地域ニーズにあった自費サービスを取り入れ利益の確保に努めます。令和6年度介護報酬改定に向けて算定強化されるものや見直しすべきところは迅速に対応していきたいと考えています。

【サービス別稼働目標】

特別養護老人ホーム (平均利用率)	令和3年度実績 93.5%	令和4年度実績 94.5%	令和5年度見込 96.0%	令和6年度目標 97.0%
短期入所生活介護 (平均利用率)	令和3年度実績 116.4%	令和4年度実績 117.7%	令和5年度見込 118%	令和6年度目標 120.0%
特養+短期入所 (平均利用率)	令和3年度実績 99.7%	令和4年度実績 100.8%	令和5年度見込 102%	令和6年度目標 103%
通所介護 (一日当たり平均利用者数)	令和3年度実績 40.6人	令和4年度実績 41.2人	令和5年度見込 42.2人	令和6年度目標 43.0人
居宅介護支援事業① (月平均保有件数)	令和3年度実績 89.7件	令和4年度実績 93.7件	令和5年度見込 104.0件	令和6年度目標 110.0件
居宅介護支援事業② (月平均保有件数)	令和3年度実績 107.9件	令和4年度実績 112.0件	令和5年度見込 127.0件	令和6年度目標 137.0件
訪問介護 (月平均訪問時間数)	令和3年度実績 618.0時間	令和4年度実績 610.0時間	令和5年度見込 627.0時間	令和6年度目標 650.0時間
地域包括支援センター (予防給付管理数)	令和3年度実績 3731件	令和4年度実績 3751件	令和5年度見込 3780件	令和6年度目標 3800件

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名(購入・工事)	予算(千円)	物件名(購入・工事)	予算
屋上 温水器交換 防犯カメラ取付	6,000 2,000	見守りセンサー追加	1000(県の補助事業)

事業計画

拠点名	愛しや
実施事業	特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業、訪問介護

【運営目標】

愛しや拠点では、特養・短期入所生活介護を合わせた入所部門として空床を最小限に抑えてベッドをフル稼働し、居宅介護支援及び訪問介護の在宅部門を人員を補強して、利用者数・サービス提供時間数を増やすことで収益の拡大を図ります。費用の節減について、特に入所部門において介護ロボットやICT活用によって業務効率化を図り残業による時間外手当を減らすこと、また同様に職員の負担軽減を図って雇用を定着させ欠員補充によって生じる採用コストを減らすことを目標としています。また、備品等を法人グループの一括購入とすることでコスト削減を図り、SPDによる無駄な在庫の削減も進めてまいります。

①入所部門：外国人技能実習生や高齢職員、子育て職員など人材が多様化しているため、それぞれの働き方の中でワークライフバランスがとれるよう柔軟な勤務体制が取ってまいります。また、多様な人材が従事する中でケアの質が落ちることのないよう、資格取得支援のほか施設内及び施設外の勉強会・研修の機会を充実させ、指導・教育できる体制を取ってまいります。

②居宅介護支援事業：前年度末よりケアマネを増員しているため、すべてのケアマネが一日も早く最大件数担当できるように新人ケアマネの指導・教育を進め、保有件数と法人内のサービス紹介率も上がるようにしてまいります。

③訪問介護：営業時間や曜日を拡大し増員しているすべてのヘルパーがいつどのような利用者に対してもフル稼働できるよう指導・教育や報連相の体制を整備してまいります。

【サービス別稼働目標】

特別養護老人ホーム (平均利用率)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	93.9%	90.7%	91.4%	92.0%
短期入所生活介護 (平均利用率)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	126.9%	144.4%	146.5%	139.0%
特養+短期入所 (平均利用率)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	100.5%	101.5%	102.4%	101.5%
居宅介護支援事業 (月平均保有件数)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	介護：124.8件 予防：24.4件	介護：147.3件 予防：25.8件	介護：166.1件 予防：22.6件	介護：187件 予防：41件
訪問介護 (月平均訪問時間数)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	1099.2時間	1249.4時間	1367時間	1666時間

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名(購入・工事)	予算(千円)	物件名(購入・工事)	予算(千円)
給排水設備修繕	1,000		

事業計画

拠点名	愛しや老健
実施事業	介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション

【重点運営目標】

愛しや老健拠点では、老健・短期入所療養介護を合わせた入所部門と通所リハビリ部門を定員数最大限フル稼働し、訪問リハビリで利用者数やサービス提供単位数を増やすことで収益の拡大を図ります。また、入所部門においては、ベッド回転率を上げて短期集中・認知症短期集中リハビリテーション加算の算定率をあげてまいります。費用の節減については、備品等を法人グループの一括購入とすることでコスト削減を図り、SPDによる無駄な在庫の削減も進めてまいります。

- ①入所部門：ベッドを回転させながら稼働率も維持できるようにすることで、短期集中・認知症短期集中リハビリテーション加算の算定数を増やし収益増を図ってまいります。多職種間での情報共有や連携を図ることでケアの質を高めていけるよう、ICTも活用しながら情報を一元化していけるようにしてまいります。
- ②通所リハビリ：空き情報を常時ケアマネジャーや既存の利用者に伝え、一日単位で定員の空きを埋められるよう利用を促してまいります。
- ③訪問リハビリ：子育てや時短勤務によって訪問として稼働できていないセラピストの時間もあるため、既にある訪問セラピストが最大限稼働できるように、勤務体制を整備してまいります。

【サービス別稼働目標】

介護老人保健施設(短期含) (平均利用率)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	95.7%	95.0%	95.5%	97.0%
通所リハビリテーション (一日当たり平均利用者数)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	40.3	42.4	41.3	41
訪問リハビリテーション (月平均提供単位数)	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度見込	令和6年度目標
	165.9単位	160.5単位	173単位	178単位

【施設・設備整備計画】

上半期		下半期	
物件名 (購入・工事)	予算 (千円)	物件名 (購入・工事)	予算 (千円)
給排水設備修繕	1,000		